

C-6 横針編み・かぎ針編み・アフガン編みの編み地の特性について（オ4報）
昭和女大短大 岡野都 ○谷井淑子 高梨小夜子

目的 オ3報で洗たく方法の差異が、各編み地の収縮率・重さ・厚さ・保温率・通気量・風合いの変化に及ぼす影響が大であることを確認した。今回は洗たく前と洗たく10回後の編み地のゲージ・摩擦などの表面特性・圧縮特性を比較し、洗たく方法の差異がこれらの風合い要因特性にどのように影響しているかについて、検討することを目的とした。

方法 ①ゲージ：10cm間の目数×段数・編み目密度・コース幅・ウェール幅の変化について検討した。②摩擦などの表面特性：繊維摩擦係数測定器によって、ウェール・コース方向について摩擦係数・表面のあらさを測定するとともに、表面の毛羽の状態も検討した。③圧縮特性：インストロンおよび圧縮弾性度試験機によって、圧縮仕事量・クラッシュ係数・レジリエンス・圧縮率・圧縮弾性率を測定した。

結果 ①ゲージ：目数・段数の変化は編み地の特性によって一様ではなく、編み目密度は収縮率と同順位でアフガン編みのドライクリーニングの場合32.25%増で最も多い。②摩擦などの表面特性：洗たく前にくらべ、各洗い方・編み方とも摩擦係数および表面のあらさは低下し、方向間の差も手洗い>洗たく機洗い>ドライクリーニングの順に減少している。また表面毛羽の状態はドライクリーニングの場合、各編み方とも毛羽立ちが多く、毛羽相互のからみ合いも認められた。③圧縮特性：洗い方による差は摩擦などの表面特性ほど明瞭ではなく、圧縮率・クラッシュ係数は各洗い方・編み方とも低下し、レジリエンスは各洗い方・編み方とも増加、圧縮弾性率は横針編みと長編みが増加したが他は変化がなく、圧縮仕事量は横針編み以外は各洗い方・編み方とも低下している。